

整備効果
1

安定した地域間交通の確保

国道169号の当該区間は、交通不能区間（H8解消）・幅員狭小区間・線形不良区間・通行規制区間などがあり通行に支障をきたしています。奥漣道路の開通に引き続き、奥漣道路（Ⅱ期）の整備により、これらの問題が解消され、「交通安全面」「緊急車両の円滑な活動」など、移動の確実性が向上します。



幅員が狭く、離合困難な国道169号の現状

整備前



整備後



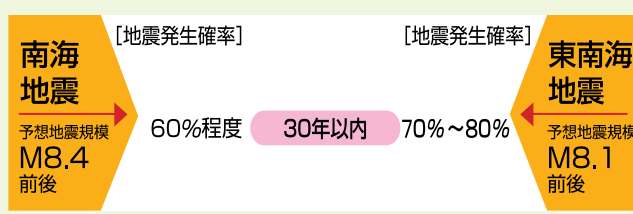
整備後の奥漣道路（有蔵トンネル付近）

整備効果
2

防災対策や救急医療体制を強化

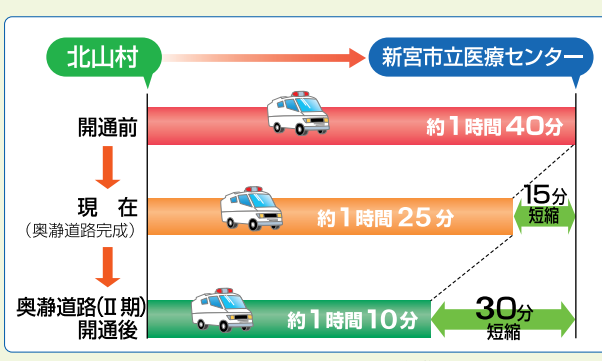
奥漣道路の一部開通（H8年度）により、交通不能区間が解消され北山村と周辺市町村とは道路ネットワークの連携強化が図られました。今後のさらなる整備により、近年発生が危惧されている東南海・南海地震への防災対策の強化、緊急車両の移動時間短縮による救急医療体制の強化などが図られ、地域の確実なライフラインとして機能します。

■東南海・南海地震の予想規模と発生確率
※文部科学省 地震調査研究推進本部 H25.2.1発表資料より



移動時間の短縮で救急医療体制に貢献

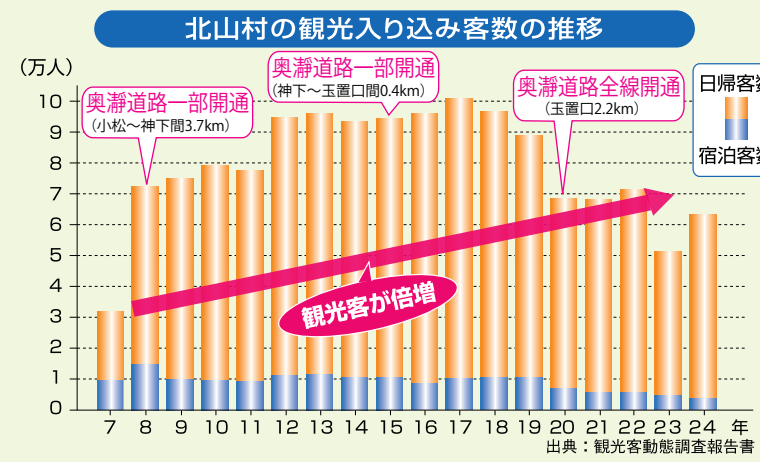
新宮市立医療センターと紀南病院（御浜町）は、当地域における総合病院及び緊急病院の役割を果たしています。一刻を争う急病の場合に備えて、国道169号のさらなる整備が急がれます。



整備効果
3

北山村の観光の振興に寄与

奥漣道路の一部開通（H8年度）により、北山村への観光入り込み客数は倍増しました。平成20年以降は社会情勢等により観光入り込み客状況は減少しました。また、観光客の増加にともない、北山村やその周辺では地域開発も進み、北山村特産の「じゃばら」を使った加工食品なども多く開発され、地場産業の活性化にも貢献しています。奥漣道路の開通に引き続き、奥漣道路（Ⅱ期）の整備により大型車両の運行が可能となり、さらなる観光客の増加が期待されます。



防災

地域住民の命を救うルートの確保、それが新たな道路整備への願いです。



北山村消防団 団長：屋敷善一さん

現在、消防団員と役場の消防隊という体制で村内全域の消防救急活動を行っています。また、飛び地であるという関係から、隣接する他県の自治体と連携して活動することもあります。現在の道路事情では利用できるルートが限定されており、大規模火災や台風などの救援活動に支障を来す恐れが非常に大きいのが実情です。また、予想される南海・東南海地震の際には道路が寸断され、陸の孤島となる可能性も小さくありません。救急搬送に時間がかかるという日常的な問題も含め、防災・救命対策の観点から2車線の奥漣道路整備は何をおいても進めていただきたいというのが、私たち消防関係者の願いです。

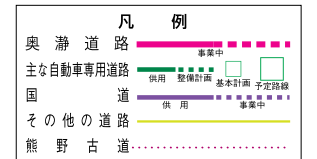
観光

北山の伝統を今に伝える筏下り。観光事業の発展に道路整備は欠かせません。



観光筏下り 筏師：中山敏男さん

林業で栄えた北山の人々は、切り出した木材で筏を仕立てて新宮まで運んでいました。観光筏下りはその伝統を汲むもので、全国で唯一の筏による急流下りとなっています。徐々に道路整備が進む中、近年は関西地区を中心に全国各地から数多くのお客様を迎えており、年間7千～9千人の方々に楽しんでいただいております。ただ、お客様から「こまかくてのに随分苦労した」というお声を耳にすることも少なくありません。快適なアクセスルートが整備されれば、地域の独自性を活かした観光事業が活性化することは間違いありませんし、事業に参加しようという意欲ある若者を村に引きつける要因にもなるでしょう。



新宮市 熊野川町・東牟婁郡 北山村「飛び地」ってなに
新宮市熊野川町玉置地区と北山村は、和歌山県にありながら周りの全てを奈良県と三重県に囲まれ、「飛び地」という全国でも特異な地域です。これは、この地域が陸の孤島であり、木材の輸送には専ら河川を利用した水運で、和歌山県の新宮と密接につながっていたことに端を発しています。明治維新までは紀州新宮藩の支配下であり、阪藩置県の際、新宮と共に和歌山県に編入されました。そのため、周囲の全てが他県となって、同地域だけが和歌山県としてガツンと取り残された飛び地村が誕生したわけです。

国土交通省近畿地方整備局
紀南河川国道事務所
〒646-0003 和歌山県田辺市中方呂142 Tel.0739-22-4564（代）
【ホームページアドレス】http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/



道の駅「おくとろ」（北山村）

道路の異状を発見したら
道路緊急ダイヤルへお知らせください。 #9910 24時間受付



縮尺 1:750,000

0 10 20 km



国土交通省 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所

一般国道169号

奥漣道路（Ⅱ期）

地域の夢と活力を育む道づくり

地域間交通の安定性と生活利便性の向上を実現し
観光資源豊かな奥熊野地域のさらなる発展に寄与します

一般国道169号

奥漣道路（Ⅱ期）

事業の目的

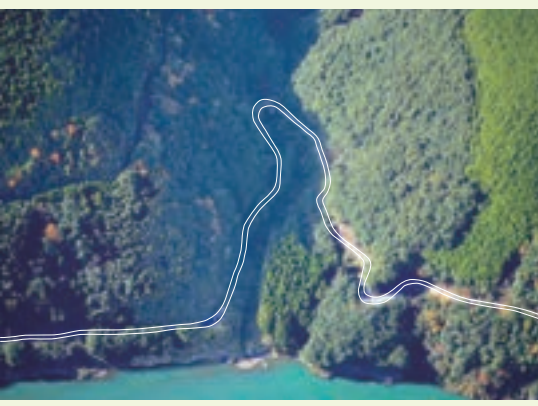
- 国道169号の線形不良区間の解消
- 災害時や緊急時における交通確保
- 沿線地域の活性化と交流推進

事業の概要

国道169号のうち、和歌山県の飛び地である東牟婁郡北山村から奈良県吉野郡十津川村に跨る区間は、徒歩でしか通れない、いわゆる交通不能区間となっていました。

奥漣道路は、この交通不能区間を解消し、災害時や緊急時における交通機能を確保するとともに、沿線地域の活性化と交流促進を図るために計画された道路です。昭和56年度に事業化し、平成20年7月12日に北山村小松～新宮市熊野川町玉置口間(6.3km)が開通しました。

奥漣道路の隣接区間である奥漣道路（Ⅱ期）が平成19年度に事業化され、引き続き、異常気象時通行規制区間の解除と、幅員狭小・線形不良区間における問題を解消し、更なる地域間交通・日常生活の利便性の向上に寄与するため、現在整備を進めているところです。



国道169号の線形不良区間



土砂崩落（竹岡付近）

奥漣道路・奥漣道路（Ⅱ期）に寄せる地域の期待

行政

なくてはならない生活基盤、奥漣道路。一日も早い全通は全村民の悲願です。



和歌山県北山村 村長：奥田 貢さん

住民の安全・安心を守るために、道路は何よりも重要な生活基盤。とりわけ周囲を険しい山々に囲まれた北山村にとって、道路網の整備は喫緊の課題です。平成8年の奥漣道路一部区間の開通は、生活の利便性向上はもちろん、産業活動や防災面、さらには観光面でも大きな役割を果たしました。しかし、未整備区間には依然として道幅の狭い難所も多く、道路環境の一層の整備が悲願であることに変わりありません。このたび奥漣道路（Ⅱ期）工事が事業化されたことは私たち村民にとって大きな喜びであり、道路特定財源の効率的な運用によって事業を推進していただき、一日も早く全線開通することを念願しています。

農業

北山村の財産「じゃばら」を全国へ。地域の健全な発展を推進する道づくりを。



じゃばら生産組合 組合長：東 渉さん

唯一の飛び地の村、唯一の観光筏流し、そして唯一のじゃばらの里。北山村には3つの「日本てただひとつ」があります。このうち北山村特産の柑橘類であるじゃばらは、近年マスコミでもたびたび紹介され、全国から注文が届くようになりました。村でもこの自然の恵みを産業に活かそうと、さまざまな取り組みをしています。このような対外的な交流を進める上で、道路の存在は必要不可欠です。奥漣道路は地域産業の進展はもちろん、高齢化が進む住民にとっては救急医療の面でも命を守る道として大きな役割も担うもの。自然とともに生き、地域独自の発展を進めるためにも、奥漣道路に対する期待は増すばかりです。